

# パーゴラのある家

高く伸びるパーゴラから  
広がりが見られる

text\_ 中島 久美 photo\_ 櫻本 宜和



パーゴラの見えるゆったりとしたダイニング。リビングとも一体感があるが、必要に応じて引き戸で区切ることもできる。



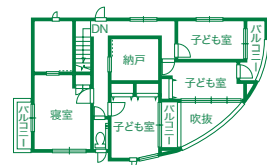
右/ゆるやかなカーブを描いて玄関へと上っていく石畳のアプローチ。パーゴラのあるパティオ、左手に行けば離れのような和室にもつながっている。  
左/ミントグリーンの入った大理石の床が豪華な玄関ホール。壁にはめ込んだ100年前の英国製ステンドグラスが、モダンな空間に調和する。

## 街

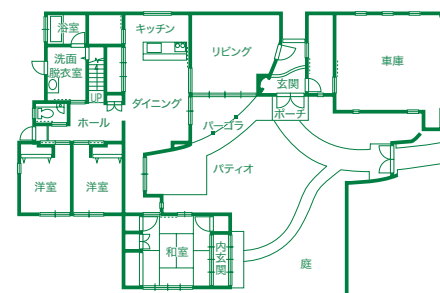
「建てたならこんな家にした  
い」と思ってた。家族は「住んで  
その後、「家づくり本」で私の他の事  
例を見つけ、「自分たちにもできるか  
もしれない」と、住宅メーカーへの依  
頼をやめて連絡をくださいました。そ  
の期待にお応えするために、細部に  
までこだわって提案しています。  
白を基調にした西洋建築のデザイ  
ン、明るさと重厚さを備えた割れ肌の  
石材など、建て主が気に入ってくだ  
さった要素を余すところなく取り入れ  
ました。そして、もともとの特徴的な  
が、垂直に高く伸びるパーゴラです。  
2階建ての建物のさらに上まで、パー  
ゴラが伸びるパティオを設け、そこを中  
心に玄関と車庫、和室とが建物の両翼  
に広がる設計です。背が高くバランス  
のとれた建物には安定感があり、整備  
された平坦な住宅地の中で、ひととき  
存在感を放っています。  
門扉には透明なガラスを入れ、カー  
プのアプローチと背の高いパーゴラが  
見えるようにしました。帰宅する家族  
はいつも新鮮な喜びとともに、また訪  
れる客人は心地よい緊張感とともに、  
邸内へと入っていくことができます。  
パーゴラのあるパティオをリビングダ  
イニングでL字型に囲み、広がりのある  
空間に演出。また離れのような和室  
には内玄関を設け、庭からも直接入室  
でき独立したおもてなしの空間として  
利用いただけます。ご家族は「住んで  
みて、暮らしたやすさを追求するさまざ  
まな工夫が実感できました。リゾート  
感覚を楽しみながら暮らしています」  
と、ご満足いただいています。

### House with pergola

●所在地/海南省 ●家族構成/夫婦+子ども3人+母 ●敷  
地面積/648.62㎡ (196.21坪) ●延床面積/258.29㎡  
(78.13坪) 1階183.16㎡ (55.41坪) 2階75.13㎡ (22.73  
坪) ●用途地域/第一種中高層住居専用地域 ●建ぺい率/  
60% ●容積率/200% ●構造・工法/木造軸組工法 ●竣工  
/2014年10月 ●本体工事費/約48,000,000円 ●施工  
/大浦建設株式会社



2階



1階



ダイニングから廊下への開口はユニークな形に造作。和室へと続く  
奥の廊下の月や雪をイメージしたつららに遊び心が詰まっている。

**橋 雅彦** 1941年和歌山市生まれ。1974  
年イタリアフィレンツェ大学建築科留学、  
1975年10月ミラノのSTUDIO PROに正所  
員として勤務。1976年9月エテルノ建築  
設計事務所設立。1993年ガラス店装(全国)  
コンテスト審査員特別賞受賞。1995年同  
展最優秀賞受賞。1997年和歌山県ふる  
さと建築景観賞受賞。2005年和歌  
山市優良建築物賞受賞ほか。



### いつまでも飽きない家を

住まいの設計には新しい感覚も必要ですが、  
時間の経過とともに飽きてしまう家ではいけません。  
流行を追うのではなく、住むほどに味わいが  
出るような住まいづくりに取り組んでいます。研  
鑽を積み、人間や自然についての普遍性や必然  
性を追求し、高め続けるという基本ベースを踏ま  
えながら、より質の高い建築をめざしています。

垂直に伸びるパーゴラを中心に、翼  
を広げたような形の建物。塀に用い  
た割れ肌の石は、明るさと重量感  
を併せ持ち、独特の魅力を持っている。